



ふれあい病院フェスティバルを開催します

毎年5月12日は「看護の日」です。近代看護を築いたフローレンス・ナイチンゲールの誕生日にちなみ制定されました。

「看護の日」には、全国で関連行事が開催されます。市民病院では、看護師をはじめ、さまざまな医療職が集まり、市民の皆さんに自分や家族の健康に関心を持ってもらえるよう「ふれあい病院フェスティバル」を開催します。骨密度測定や理学療法士による口コモチェック、歯科衛生士による口のなかの健康チェック、医師や栄養士への健康相談コーナーなどを開設します。また、今年は新しく血管年齢測定コーナーも加わります。

参加は無料で予約も不要ですので、皆さんお誘い合わせのうえ、気軽にご参加ください。

ふれあい病院フェスティバル

とき 5月12日(金) 9時～12時

ところ 市民病院



碧南の歴史へのいざない



問合せ 文化財課内市史資料調査室 ☎(41)4566

No.36 碧南市史資料第65集

新民序塾書 郡達綴込①

碧南市では、この地域に関する江戸時代以降の古い史料を所蔵しています。その多くは読むことの難しい古文書類で、古い写真、古地図・絵図などもあります。貴重な史料は一部翻刻（崩し字で書かれた文章をかい書になおして一般に読める形式にすること）され、市史資料集として発行しています。そのなかから、最近出されたものを紹介します。

「碧南市史料第65集 新民序塾書 郡達綴込」（平成20年3月発行・非売品）は、2つの文献を1冊にまとめた内容で、今回は「新民序塾書」の方をお伝えします。



△「新民序塾書 郡達綴込」表紙

明治4年（1871年）に、寺子屋での教育にかわり、「新民序」が大浜の西方寺に、管下の各村に「新民塾」が設立されました。その際に、教育理念などについて記されたものが「新民序塾書」になります。「新民序・新民塾」は、碧南での学校教育の基盤となり、のちに市内の各小学校となりました。碧南の近代教育のはじまりがわかる貴重な史料となっています。



△かつて新民序があった西方寺の太鼓堂